

あなたの夢を、暮らしを応援する住宅情報紙



# かふう

毎週金曜日発行

2007.3.9

Vol.75

 琉球新報

発行  
琉球新報社  
〒900-8525 沖縄県那覇市天久905  
TEL098-865-5014  
企画・編集・制作  
(株)正広コーポレーション  
〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅1-11-9  
TEL098-941-8112

新報リビングニュース

卒業式の歌が聴こえてくる、巣立ちの春です。



目次

## こんな家に住みたい のんびり暮らせる外壁の家 第71回 豊見城市 Mさん宅

5 モデルルームに行こう  
La Hacienda dos

6 どうする住宅資金  
公庫融資が変わる! その3

8 シリーズドキュメントづくり  
ケースその十五の三 古民家再生

10 ペット  
おさかなとおつまみの店 わこ/  
ペットと私の物語3

11 ガーデン  
樹木匠のカルテから 松の話(2) /  
「DIYでリニューアル」

12 引越し特集  
引越しの達人首里フジコに学ぶ

18 この人に聞け57  
備瀬ヒロ子さん  
(株)都市科学政策研究所代表取締役技術管理者

19 住まいQ&A  
引越し儀礼について  
街で見つけた住まいグッズ  
木と土の生活道具

20 シマのかたち、街のかたち12  
ピロティ建築の耐震補強の巻1

22 かふう週報

撮影・星比久光史

「かふう」とは、「沖縄語辞典」によれば「果報。幸運(にめぐり合うこと)」とあります。「かふう」であなたの幸せを見つけてください。





玄関から中庭を見る

家族と二匹の愛犬とが穏やかに暮らすMさん宅は、豊見城市の海岸沿いにあります。以前の住まいも一戸建てだったのですが、実家のある豊見城市に住まいを移して暮らしたいという思いが募り、満を持して、意中の建築士へ設計を依頼したと言います。Mさんが新しい住まいに望んだのは「外からの視線を気にせず、海を見ながらオープンな暮らしができること。玄関や仏壇の位置など風水も考慮すること。大容量の収納がほしい」などでした。こうした思いを受け止めた建築士は、すぐさま好条件の土地を探し出し、家づくりが本格的にスタートします。

完成した住まいは、高く延びた外壁が印象的なコンクリート造の建物。その外壁の一部に白の塗装を施し、無機質になりがちなコンクリート打ち放しの質感を、やわらかい印象に変えた個性的な佇まいです。外部に接した門扉を開けると、光の降り注ぐ吹き抜けの中庭が目に入り、訪れる人は開放感に包まれます。

一階は、リビング、和室、ダイニングキッチン、水回りを配したパブリックゾーン。どの部屋も、中庭のびやか

適所に収納を確保してすっきり暮らす



リビング、和室、ダイニングキッチンが一体空間となった一階。和室は閉め切って客間として使うこともできます

# のんびり暮らせる 外壁の家

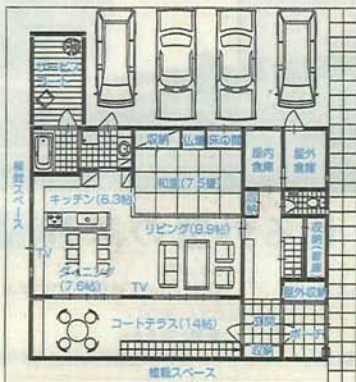
●こんな家に住みたい

第71回  
豊見城市  
Mさん宅

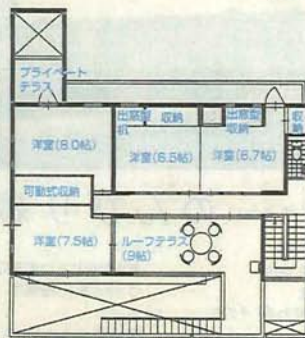
## Mさん宅データ

家族構成	家族4人+犬2匹
所在地	豊見城市
設計	Cafe+1級建築士事務所Simple 赤瀬しげたか
敷地面積	234.25㎡ (70.86坪)
建築面積	104.77㎡ (31.69坪)
延べ床面積	166.14㎡ (50.40坪)
構造	RC壁式構造
用途地域	第一種低層
完成時期	2005年6月

- 建築：(株)丸産業  
● 電気：YARA電気  
● 水道：(有)広設備工業  
● キッチン：CASA



1F平面図



2F平面図



な空気感が伝わる配置。「光や風も申し分なく入ってくるので、クーラー要らずですよ」と、Mさん。珪藻土や木材などの自然素材をふんだんに使った、体に優しい室内空間です。リビングにあるテーブルは、前の家からの愛用品に足を継ぎ足してリメイクしたもの。「主人が生前、コレクシヨンの貝殻をディスプレイするために特注したテーブルです」と、今は亡き主人への思いが込められています。仏壇のある和室は、静謐な和の趣き漂う空間です。

さて、「モノを置きたくない性分」を自負するMさんにとって、収納を多くとること大切な要諦の一つ。細かいところですが、生活動線を考慮して適所に設けた造り付け収納は使い勝手がいいでしょう。室内はすっきりとした印象です。「シンプルに暮らしたいので、家具もほとんど置いていません。おかげで掃除も楽ですよ」と、Mさんは言います。さらに、裏側の駐車場へつながる勝手口のおかげで、買い物帰りの荷物運びも楽なのだとか。天日干しのできる物干し場は、外壁で囲まれ、外からの視線は全く気になりません。このように、家事動線は一階のキッチン回りでコンパクトにまとまっています。

二階上がる階段には、空きスペースを利用して書庫を設けました。階段の側板に白色の亚克力板を使い、自然光を取り入れて本が探し出せるようになっていきます。二階は、子ども部屋や寝室のあるプライベートゾーン。一階同



右/二階のルーフトラスは、Mさんお気に入りの場所。海に臨み開放感抜群。左上/二階子ども室。間仕切りは壁内にすっきりと収まります。白色の亚克力板を使った引き戸が、室内にほどよい光を取り入れています。左下/二階寝室。右側の収納は可動式となっています。現在は、隣の部屋との間仕切りとしても活用し、部屋数を確保

様、造り付け収納も多く、珪藻土や木材で造られた空間です。各部屋は、可動式の板壁や収納で仕切られているので、間取りの変化も自由自在。そしてなにより、「ここで海を眺めながら過ごす時間が一番好きです」と、Mさんが静かに語る二階は海が一望でき、開放感も抜群です。

「独立した息子家族が孫を連れてきたり、子どもたちの友人もよく遊びに来ます。中庭でパーベキューを囲んで、みんなでにぎやかに過ごす時間も楽しいですね」。

Mさんは、成長した子ども達と愛犬に囲まれ、にぎやかにそして心穏やかに、新しい住まいでの時間を満喫していきます。



右/中庭からの光が入る、明るい玄関ホール  
中央/バスルームから眺め物干し場は、高く延びた壁に囲まれ、視線が全く気になりません  
左/美しさと機能性を兼ね備えたキッチン



こんな暮らしをみたい  
のんびり暮らせる  
外壁の家

第1回  
建築家  
Mさん宅

## デザインとは無理のない動線計画の提案

安全で、楽しく優しい家。それが出発点

建築士・手直し役たかさん

「外からの視線を気にしないで、オープンに暮らしたい」との施主の要望を受けて、敷地の内側に外壁を立てて、プライバシーを確保し、内部には建物と一体化した庭を設けて開放感を創出するプランニングにしました。外観は、高い外壁のせいで閉鎖的な印象にならないよう、色で工夫しています。また、前面道路は交通量が増えることが予想されましたので、この外壁は消音壁も兼ねています。物干し場も外から見えず、建物の中に隠すことで、防犯とデザイン性にも対応しました。もちろんメンテナンスもすくなくつづけています。

施主の以前の住まいは、海や山に囲まれ、周囲に全く家が建っていない環境にありましたが、とても明るく開放的な造りでした。今回の家づくりで市街地に移るようになりましたが、そのせいで室内が暗くなつては元も子もありません。また、施主はエコロジーの意識も高く、調湿性に優れた珪藻土の壁や、日中も電気を問わずに通じせる省エネ空間を望んでいましたので、通風採光については特に細密にプランニングしています。まず、窓の配置や外壁の高さはもちろんですが、素材を駆使して室内により多くの自然光を取り込むようにしました。

例えば、階段の側板には白色の亚克力板を用いて、階段下の書庫にも自然光が入るよう、庭の外階段には、耐久性のあるファイバーグレーディングを使い、天板で光を遮らないようにしています。私は最近、可動式の収納で

間仕切るプランをよく提案しています。家族構成の変化に伴う間取りの変化に対応しやすいので、Mさん宅でも採用していただきました。Mさん宅の場合、デザインだけでなく、施主のライフスタイルや生活動線を考慮し

ながら「安全で、楽しく優しい」設計を心がけました。ですので、訪問客は、外観とは違った印象を受けるかもしれませんが、装飾的な要素は省いてシンプルにしましたので、空間を自由に彩って楽しんでいただければうれしいです。

### 手直し役たか

1972年沖縄生まれ。東京近郊の設計事務所勤務。専門学校建築科卒。その後、県内設計事務所にて住宅設計、マンション・増築・店舗設計、リフォーム設計に携わりながら10年。11年建築士事務所Simple設立。平成17年、沖縄市中央パークニュータウンにCafe+1開業。建築士事務所Simple オープン。建築、デザイン、アート、カフェのイベントや発表、設計相談を受ける。



右上/外部に接した門扉を開くと、目の前に中庭が広がります  
左上/二階から中庭を見る。階段の天板にはファイバーグレーディングを使って光を遮らない工夫をしています  
右下/階段側板に、白色亚克力板を用いて階段下に設けた書庫や収納にも光が届きます



Mさん宅外観模型。一階部分は、消音壁を兼ねた高い外壁が並び、二階は海に向かって大きく開いています

